

## 「DX タグ」による牛の発情・体調不良検知の自動化 全国各地で実証実験を実施し、正式リリース 物流技術から生まれたアクティブ RFID タグで畜産業界の DX 化を促進

ユーピーアール株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:酒田義矢)は、2023年8月より実証実験を行っていた「DX タグ」を活用した牛の発情・体調不良の検知について、全国各地での実証実験を経て、2024年1月より4道県6か所の牧場等にて、商用運用を開始しました。



「DX タグ」は、物流現場で利用されている「スマートパレット」に搭載されているアクティブ RFID タグを小型軽量化し、さらに機能を追加したものです。「DX タグ」を牛の首輪に装着し、専用リーダーを牛舎等に設置するだけで、「DX タグ」内の加速度センサーにより飼育牛の活動量を測定し、発情・体調不良の検知を容易に行うことが可能です。

当社は、畜産業界の人手不足や牛の発情管理に関するノウハウの属人化等の課題を抱える牧場主の方々と対話し、「DX タグ」を用いた課題解決の提案を続けてきました。現在、全国12道県の牧場にて「DX タグ」による牛の発情・体調不良を自動検知するソリューションの実証実験を行っており、その内4道県6か所の牧場等にて「DX タグ」の正式導入が決定しました。これを受けて、当社は「DX タグ」による牛の発情・体調不良を自動検知するソリューションの商用での提供を開始しています。

当ソリューションを利用することで乳牛および肉牛の発情検知が可能となるため、様々な種類の牧場で導入が期待できます。また、発情検知に加え、活動量をベースに発育不良の牛(特に育成期間)を検知する実証実験も開始しています。当社は「DX タグ」の利用範囲をさらに広げ、より多くの課題を解決できるソリューションを展開していきます。

### ■「DX タグ」による牛の発情・体調不良を自動検知するソリューションについて

当ソリューションは、牛舎の場合は1頭あたり年間5,000円(税抜)、放牧牛の場合であれば1頭あたり年間10,000円(税抜)\*と、導入しやすい価格でご提供します。

最大300メートルの受信範囲を持つ専用リーダーは、コンセントに繋ぐだけで動作するため、容易に設置が可能であり、様々なタイプの牧場においても導入しやすくなっております。

※費用は概算です。頭数や利用面積により変動します。

URL: <https://www.upr-net.co.jp/iot/rfid/farm/>

ユーピーアールは、今後も当ソリューションを通して、畜産業界が抱える課題を解決し、持続可能な畜産の実現へ貢献してまいります。

### ■お問い合わせ先

ユーピーアール株式会社 DX・マーケティング企画部

TEL: 03-6852-8933 Mail: [mail@upr-net.co.jp](mailto:mail@upr-net.co.jp)